

第43回 全国学童保育指導員学校

西日本
京都
会場

【会場】 京都教育大学 共通講義棟、1号館、2号館

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 TEL 075-644-8106

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/access/access01/>

*会場に駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

*会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

- 最寄駅 JR奈良線「藤森」駅下車 徒歩約3分
- 京阪本線「墨染」駅下車 徒歩約7分



4万人以上が読んでいる唯一の学童保育月刊誌!
あなたも購読してみませんか?

「一人で悩まないで、子育てはみんなでしていこう」
「子どもは安心感のある生活のなかで、ゆっくり育っていくんだよ」
月刊『日本の学童ほいく』を読んで、語って、いっぱい広めよう!!



第43回 全国学童保育指導員学校

2018年 6月10日(日)

会場: 京都教育大学

主催: 全国学童保育連絡協議会
京都学童保育連絡協議会

後援: 京都府、京都府教育委員会(予定)、他

西日本
京都
会場

第43回 全国学童保育指導員学校

西日本
京都
会場

- とき 2018年6月10日(日) 9:30 受付開始 10:00 開会
- ところ 京都教育大学
- 受講料 2,500円 弁当代 800円(お茶付・希望者のみ事前予約)

●内容	9:30	10:00	12:00	13:00	16:00
	日程	受付	全体会	昼食	講座(24教室)



全体会

- 基調報告●
全国学童保育連絡協議会
- 全体講義●
第1会場
子ども理解について
【講師】 広木克行 (神戸大学名誉教授)



第2会場
歴史からみる指導員の専門性
【講師】 石原剛志 (静岡大学)

第3会場
学童保育の子どもと遊び
【講師】 代田盛一郎 (大阪健康福祉短期大学)

会場の関係で、全体会は3会場となります。申し込み時に、第1から第3希望までを記入して申し込んでください。受講会場は、受講票に記載して返送します。



事務局より

- 申し込み・問い合わせ先●

愛知学童保育連絡協議会

TEL 052-872-1972 FAX 052-308-3324

Eメール aichigakudou@gakudou.biz

振り込み先 【名義】 西日本学童保育指導員学校

【郵便振替口座番号】 00840-7-134273

銀行から振り込む場合は

【店番号】 089 【支店名】 〇八九 【当座】 0134273

申し込み方法 受講料2,500円+弁当代(希望者のみ800円)を銀行または郵便振替で入金し、その振込票の拡大コピーと受講申込書を、郵送またはFAX・メール添付してください。(できるだけ地域・学童保育毎にまとめてください。)

※午前の全体講義、午後の講座ともに会場の関係で定員制です。必ず希望講座(第3希望まで)を記入して申し込んでください。講座の決定は申込先着順とし、第一希望に漏れた場合は調整しますのでご了承ください。

申込締め切り 5月30日(水)

※6月1日(金)以降のキャンセルは返金できません。

お弁当 800円(お茶付) 希望者のみ5月30日(水)まで

※会場周辺にはコンビニ、飲食店がありませんのでご注意ください。

保育(3歳以上) 名前、年齢、アレルギーなどの特記事項を必ず記入の上、5月30日(水)までに申し込んでください。当日、保育料実費をいただきます。

お願い 受講票を事前に受け取った方は、必ず当日ご持参ください。

会場に駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。車で来られる方は、ご自分で近隣の駐車場を確保してください。



基礎講座

- 1 学童保育の役割と指導員の仕事**
 講師 ● 早川雅代(石川県指導員)
 働く保護者の切実な要求から生まれた学童保育。その役割を理解するとともに、子どもに毎日の継続した生活を保障する学童保育指導員の仕事についての基本を学びます。
- 2 子どもの理解とはたらきかけ**
 講師 ● 森 徹(京都府指導員)
 学童保育で生活する子どもの特性をふまえながら、学童期の子どもの発達に対する理解を深め、子どもをとらえる視点を学びます。
- 3 高学年の子どもの理解と生活づくり**
 講師 ● 香田太郎(大阪府指導員)
 毎日のように6時間授業があり、宿題も山積みその上習い事に、友だちとの関係の悩み、思春期の入り口に差し掛かる子どもたちをどのように理解し、生活を作っていくかを学びます。
- 4 学童保育の生活における子どもの権利**
 講師 ● 三山 岳(愛知県立大学)
 子どもの権利条約は、子どもの最善の利益を守ることをめざす国際条約です。子どもの権利ってなに? また、それをもとに学童保育の生活では何を大切にすることを考えます。
- 5 子どもの発達を学ぶ -入門編-**
 講師 ● 木村洋太(京都府立大学講師)
 「発達」の概念と子どもの発達の道筋を丁寧に学び、学童期の子どもたちの豊かな発達を保障するために大切にしたいことを学びます。
- 6 子どもの心と体の健康**
 講師 ● 山崎嘉久(あいち小児保健医療総合センター)
 子どもの命を守り健康的で安定した生活を送るために、子どもの体の構造・機能、学童保育の生活における健康管理・衛生管理の基本を学びます。

理論講座

- 7 学童保育における集団づくり**
 講師 ● 久田敏彦(大阪青山大学)
 一人ひとりが大切にされ、仲間と育ち合い主体的に生活するためには? 学童保育における集団づくりについて学びます。
- 8 障がいのある子ども理解を深め、ともに育ちあう**
 講師 ● 湯浅恭正(中部大学)
 障がいのある子、発達障害の子どもをどう理解するかを学び、受け入れ体制や課題、ともに育ちあう生活づくりと指導員の関わり方を学びます。
- 9 子どもにとってあそびとは**
 講師 ● 四方則行(元京都府指導員)
 学童保育の生活のなかで「あそび」は重要です。あそびの意味、実践していくうえで大切にしていきたいことを学びます。
- 10 つたえあい、気づきあう~子育て支援・家庭支援**
 講師 ● 下方 丈司(愛知県立大学博士課程)
 学童保育は子どもの育ちを守り、保護者の就労と子育てを支えるところです。子どもをまん中にした、保護者を理解するための視点、援助の方法を学びます。
- 11 アレルギーをもつ子どもの理解**
 講師 ● 藤森正宏(NPO法人アレルギー支援ネットワーク)
 学童保育は生活の場、おやつや食事は大事です。アレルギーをもつ子どもたちに、どのような配慮が必要か、また、周りの子どもとの関係も含め大切にしたいことを学びます。

- 12 子どもの発達を学ぶ -応用編-**
 講師 ● 中村隆一(立命館大学)
 「発達」の概念と子どもの発達の道筋を学び、学童期の子どもたちの豊かな発達を保障するために学童保育実践で大切にしたいことを学びます。
- 13 特別な配慮が必要な子どもへの対応**
 講師 ● 堀場純矢(日本福祉大学)
 貧困・虐待・いじめなど、様々な困難さや生きづらさを抱えた子どもに対して、必要となる配慮や支援方法について学びます。

実践講座

- 14 学童保育の生活とあそび**
 助言者 ● 代田盛一郎(大阪健康福祉短期大学)
 学童保育の生活の中心となる『あそび』の意義や大切さ、指導や働きかけの視点を実践のもとに学びあいます。
- 15 学童保育の生活と集団づくり**
 助言者 ● 船越 勝(和歌山大学)
 学童保育の生活で一人ひとりの子どもが安心して一緒に生活する仲間づくりと、指導員の関わりについて実践のもとに学びあいます。

16 保護者に生活を伝え考えあう
 助言者 ● 上村千尋(金城学院大学)
 子どもの生活について、何を大切に、どのように伝えあっているのか、お互いの実践を交流しましょう。

17 障がいのある子どもを含む生活づくり
 助言者 ● 木全和巳(日本福祉大学)
 障がいのある子どもと指導員の信頼関係を土台に、まわりの子どもたちとの関わり、その子を含む生活・集団づくりについて考えます。

18 高学年を含む学童保育の生活
 助言者 ● 甲斐真知子(元小学校教員)
 学童保育で高学年の子どもたちがどのように生活しているかを交流し、高学年の子どもたちの発達要求をとらえてた生活づくりや大切にしたいことを実践をもとに共有し学び合います。

19 有効な保育記録の書き方-豊かな保育計画をつくるために-
 助言者 ● 本田清春(元小学校教員)
 保育記録の必要性を確認し、どのように書いたらいいかを学びます。それを保育にどのように反映していくといいかを交流しながら学びます。

20 学童保育と学校・地域との連携
 助言者 ● 土佐いく子(和歌山大学講師)
 子どもが安心して育つためには、学校や地域との連携が欠かせません。日常的な様子の伝えあい、就学前からの連続性の保障、地域住民との関係づくりなど、実践を通して考えます。

21 職員のチームワーク
 助言者 ● 玉木博章(中京大学)
 「どうしたら職員間の関係性がうまくいくのだろう」と悩み考えたことはないですか。職員間でチームワークをつくり保育していくために、何をどのように伝え信頼関係を築いていくかを実践のもとに学び合います。

22 障がいのある子どもの保育と関係機関との連携
 助言者 ● 丸山啓史(京都教育大学)
 学童保育の生活の中で、障がいのある子どもが安心して日々を過ごせるよう、障がいへの理解を深め、子ども一人ひとりの思いや願いを大切にしたい生活づくりのために、どのような関係機関とどのような連携が必要なのかを実践を通して考えあいましょう。

実技講座

23 みんなであそぼう
 講師 ● 滋賀湖東地区指導員会(滋賀県指導員)
 雨の日にもってこいの室内あそび(カロム・かまぼこ落とし・マンカラ・ボードゲーム等々)を中心に導入の仕方や工夫・発展・指導員の関わりなど学びます。実技が中心の講座で定員は60人です。

特別講座

24 「運営指針」を学ぶ
 講師 ● 石原剛志(静岡大学)
 放課後児童クラブ運営指針のなかで、指導員の仕事が明記されました。指導員として何を大切に子どもたちと向き合っていくか、保護者とどう連携していくか、指導員倫理についても深く学びます。

キトリ 第43回 全国学童保育指導員学校西日本[京都]会場参加申込書

(フリガナ) 申込者氏名	お立場 ・指導員 ・保護者(OB含む) ・その他 ()
受講票送り先 (送付先が職場の場合、必ず学童保育名をご記入ください) 職場・自宅(〒 -)	学童保育所名・所在地 学童保育所名 都道府県・市区町村
電話番号 講座変更など確認のために連絡する場合がありますので、昼間連絡の取れる連絡先をご記入下さい [自宅・職場・携帯] () -	
受講希望 全体会 第1() 第2() 第3() 講座 第1() 第2() 第3() 必ず第3希望までお書きください	お弁当希望 ・なし ・あり()個
保育希望 なし・あり(歳)()人 ●特記事項・アレルギーなど、ご連絡ください	
送金日(/)・送金額(¥	送金者名 ()

ご記入いただいた個人情報は、本指導員学校運営に関する業務、および、各種研修会等の受講案内に関する業務に必要な範囲で、全国学童保育連絡協議会の管理責任のもと、本指導員学校を主催する各連絡協議会と共同利用いたします。本人の許可なく第三者への提供は行いません。(詳しくは全国学童保育連絡協議会ホームページをごらんください)